

事前評価調書

I 事業概要						
所管課	畜産課		事業実施課	畜産課		
事業名	畜産担い手育成総合整備事業		予定工期	H29～H32(4年間)		
地区名	竹富月桃地区	市町村名	竹富町	事業主体	(公財)沖縄県農業振興公社	
事業費	674,834 千円		補助率等	基本施設:国2/3、県7/30、農家3/30 その他施設:国2/3、県5/30、農家5/30		
整備数量	草地造成改良21ha、草地整備改良11ha、隔障物、牛舎堆肥舎7棟、農具庫、牧草収穫機械					
「沖縄21世紀農林水産業振興計画」における位置づけ	基本項目	6	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備			
	具体項目	(1)	沖縄の特性に応じた農業の基盤整備			
	具体施策	ア	農業生産基盤の整備			
個別整備計画等の内容	沖縄県酪農・肉用牛生産近代化計画					
事業概要	未・低利用地の有効活用を図るため草地造成改良、草地整備改良等を実施すると共に牛舎、堆肥舎等の施設を整備し、畜産主産地の形成を促進する。					
II 評価						
①事業の必要性・効果	(1) 必要性	竹富町(黒島)は県内有数の肉用牛の産地であるが、岩盤地帯である事から牧草の生産性が乏しく、畜産振興するためには牧草地の拡大、牛舎等の施設の整備が必要である。しかしながらこれには多額の経費を必要とするため、農家が自己整備するには負担が大きく支援が必要である。本事業導入により農家の肉用牛飼養規模拡大と経営の安定につなげる。				
	(2) 効果	本事業による牧草地の基盤整備が拡大され、自給粗飼料の安定供給が可能となることから、畜産経営における低コスト化が図られる。				
	(3) 地元の要望及び調整状況	平成27・28年度に地元説明会の開催及び平成27年度に竹富町から事業地区樹立申請があり、平成28年度に事業実施計画書を作成。				
	判定	A	A: 現状の課題等から事業実施の必要性があり、地元の受け入れ体制も確立している。 B: 現状の課題等が十分把握されていない。または地元の受け入れ体制が確立していない。 【理由】 牧草地等の基盤整備により、生産性の向上と経営の安定が図られる。また地元の受け入れ体制も確立されている。			
②事業の費用対効果等	(1) 費用対効果(単位:千円)	効果項目	効果額	概要		
		畜産物等生産効果	29,069	草地造成等や施設整備等により、家畜頭数等の畜産物生産量が増減する効果		
		営農経費節減効果	13,330	草地造成や施設整備等により、畜産経営の経費が増減する効果		
		畜産環境改善効果	20,445	家畜排せつ物処理施設等の整備により畜産環境問題を改善する効果		
		合計	62,844	基準年: H28 評価期間: 20年		
		総便益B	827,881	B/C	1.35	計算式 827,881/612,192=1.35
		総費用C	612,192			
	(2) 費用対効果未記載の理由					
判定	A	A: 十分な事業効果が期待できる。 B: 十分な事業効果が期待できない。 【理由】 子牛販売頭数の増や牧草の単収向上等が見込まれ、十分な効果が期待される。				

